

資料 2

札内川と河川利用

札内川懇談会 (第1回 平成24年2月17日)

札内川の高水敷利用 (1/2)

- ◆戸蔭別川合流点下流側の札内川の高水敷は、公園や緑地、運動場として利用されている。
- ◆また、KP5～8付近の右岸高水敷は、採草地としても利用されている。



札内川KP3～9付近の高水敷利用状況



札内川KP10～17付近の高水敷利用状況

札内川の高水敷利用 (2/2)

◆戸蔦別川合流点上流側の札内川の高水敷は、採草地や公園・緑地として利用されている。



札内川KP24～27付近の高水敷利用状況



札内川KP33～37付近の高水敷利用状況



札内川KP38～40付近の高水敷利用状況



札内川KP43～47付近の高水敷利用状況

札内川での環境教育

◆札内川では、近年は年間5～7回の水生生物調査や水質調査等を実施し、毎年300名～500名近くの小学生等が参加している。

平成21年度の実施状況 [6回、計358名参加]

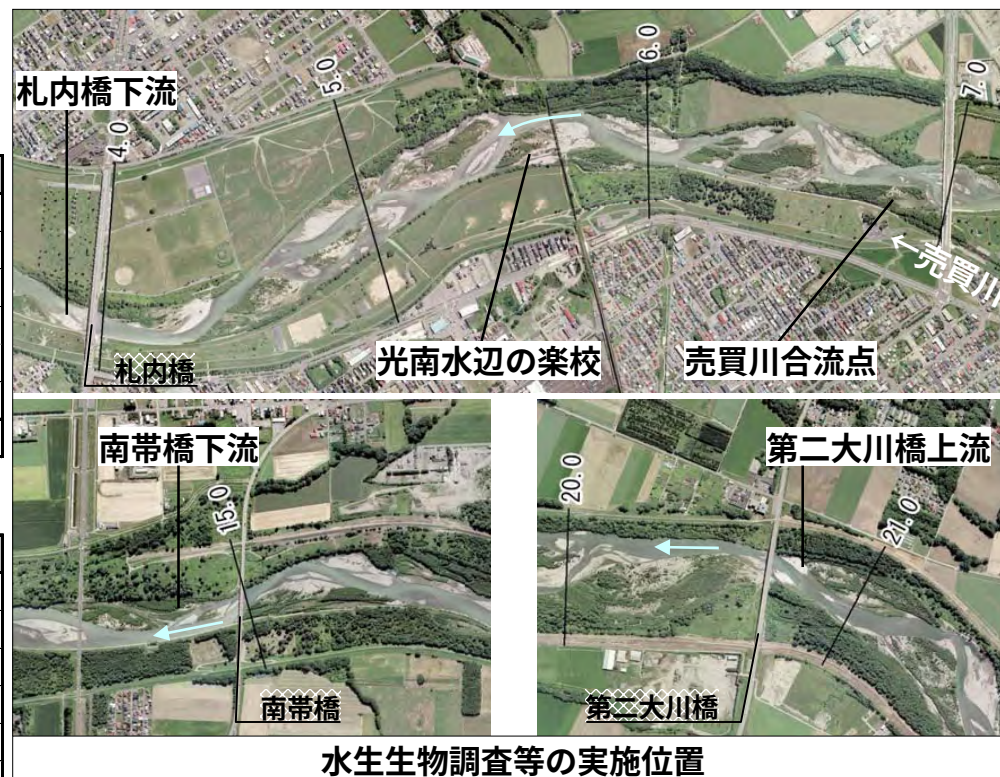
No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	幕別町立古舞小学校	7月3日	南帯橋下流	11
2	幕別町立札内北小学校	7月8日	札内橋下流	71
3	帯広市立柏小学校(5年)	8月24日	札内橋下流	80
4	帯広市立柏小学校(4年)	9月14日	札内橋下流	78
5	帯広市立光南小学校	9月15日	光南水辺の楽校	60
6	幕別町立白人小学校	9月30日	札内橋下流	58
合 計				358

平成22年度の実施状況 [7回、計483名参加]

No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	帯広市立明星小学校(5年)	7月6日	売買川合流点	62
2	帯広市立明星小学校(4年)	7月7日	売買川合流点	72
3	幕別町立札内南小学校	8月20日	札内橋下流	79
4	帯広市立柏小学校	8月27日	札内橋下流	64
5	幕別町立白人小学校	9月1日	札内橋下流	48
6	帯広市立豊成小学校	9月14日	売買川合流点	86
7	幕別町立札内北小学校	9月15日	札内橋下流	72
合 計				483

平成23年度の実施状況 [5回、計299名参加]

No.	学校名	実施日	実施場所	参加者数
1	帯広市立豊成小学校	6月29日	売買川合流点上流	84
2	帯広市立広野小学校	7月12日	第二大川橋上流	37
3	幕別町立札内南小学校	9月13日	札内橋下流	78
4	幕別町立白人小学校	9月12日	札内橋下流	51
5	幕別町立幕別小学校	9月15日	札内橋下流	49
合 計				299



水生生物調査等の実施位置



平成23年度の実施状況 (札内川 第二大川橋上流)

札内川の水辺の楽校

- ◆ 札内川では光南地区と大正地区に水辺の楽校があり、地域で利用されている。
- ◆ 礫河原が減少していくと、川に近づくことが困難になり、河川を利用しづらくなる恐れがある。



▲光南地区 水辺の楽校
(KP5.7付近左岸)



水生生物採取・観察



▲大正地区 水辺の楽校
(KP20.5付近右岸)



水生生物調査



カヌー教室



H12年：広い礫河原、複列の流れ



H17年：流れが右岸に集中



H22年：流れが右岸に集中し礫河原減少



礫河原の減少により
利用しづらくなる恐れ

エールセンター十勝

◆ 札内川と十勝川合流点にある『エールセンター十勝』は、「子どもの水辺」の拠点として北海道で唯一設立され、情報提供、人材派遣、資材貸し出し等の支援を行なっている。

【エールセンター十勝】

・「子どもの水辺※」の拠点として北海道で唯一設立され、情報提供、人材派遣、資材貸し出し等の支援を行なっている。



写真出典：「エールセンター十勝」WEBサイト
<http://yell.p1.bindsite.jp/cn17/index2.html>

札内川と十勝川合流点にあるエールセンター十勝



小学生による観察会
(札内川大正地区)



木陰の提供
(札内川光南地区)



近隣保育園による利用
(札内川光南地区)



レスキュー指導

「子どもの水辺」活動状況

※子どもの水辺再発見プロジェクト

- ・ 水辺を子どもの活動の場として復活させ、健全な子どもの育成を図る。
- ・ 子どもが活動している水辺を「子どもの水辺」として登録し、ハード・ソフト両面で支援。
- ・ 「子どもの水辺」は、毎年近隣学校等が利用。

札内川を舞台とした地域でのイベント

- ◆「クリーンウォークとかちin札内川」には毎年多くの人に参加（平成23年は約740名参加）
- ◆「ピョウタンの滝やまべ放流祭」や「サケの稚魚放流祭」など、歴史のある祭りも多い。



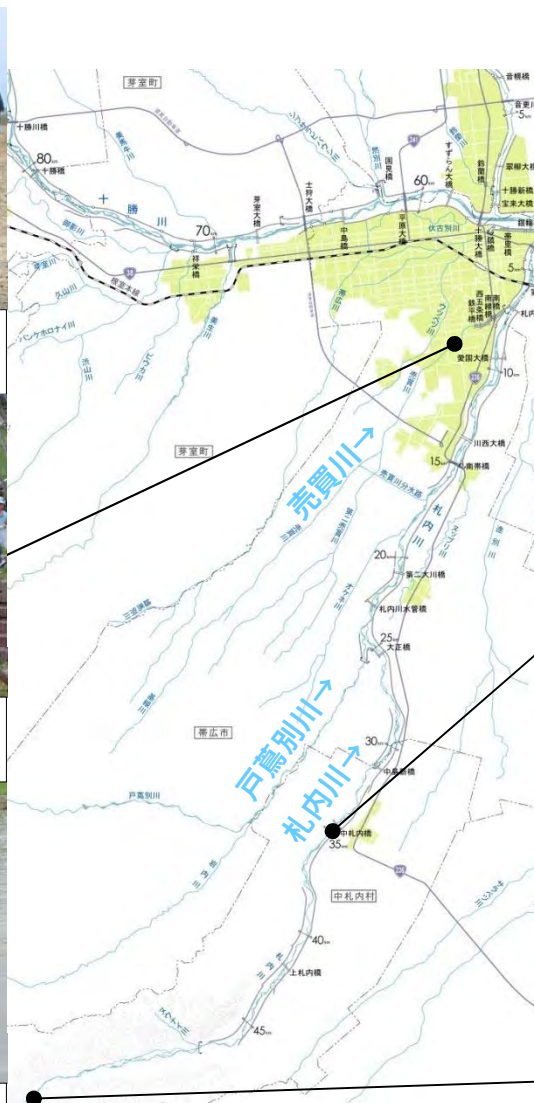
クリーンウォークとかちin札内川(H23年に第11回,約740名参加)
主催:クリーンウォークとかち実行委員会



サケの稚魚放流祭（売買川,H23年に第26回）
主催：とかち帯広サケの会



もっと川で遊び隊・学び隊（H19年の開催状況）
主催：帯広NP028サポートセンター



※写真出典:中札内メールHP



札内川カヌーレース（H18年）
主催：中札内村観光協会



川下り※（H22年）
主催：中札内村観光協会



ピョウタンの滝やまべ放流祭
（H23年に第40回）
主催：中札内村観光協会

川狩りについて

- ◆十勝川には古くから川狩りと呼ばれる習慣があった。捕った魚を河道で集めた流木の火で焼き、川の水で炊いて食べる。それは、川の恵みに感謝するとともに、自然の中で生きる知恵を次世代に伝えていく場であった。
- ◆昭和初期、川狩りは学校行事に取り入れられていた。昭和30～40年代にかけ工事廃液等によって十勝川の水質が次第に悪化し、水の事故が起こった際の責任問題などの社会認識の高まりもあり、その後ほとんどの小中学校で姿を消した。



十勝川での川狩りで昼食を食べる帯広第一中の生徒たち
(昭和37年撮影)

川狩り

川狩りの起源は鎌倉時代。同時期に書かれた「源平盛衰記」には、既に「川狩りして遊びけり(中略)今様うたひ琴琵琶、面白かりける酒宴の座」の記述がみられる。

川狩りの言葉は全国にあるが、意味は地域によって異なっている。十勝川の川狩りはレクリエーションの性格が強く、川狩りの元々の意味に近いと言える。

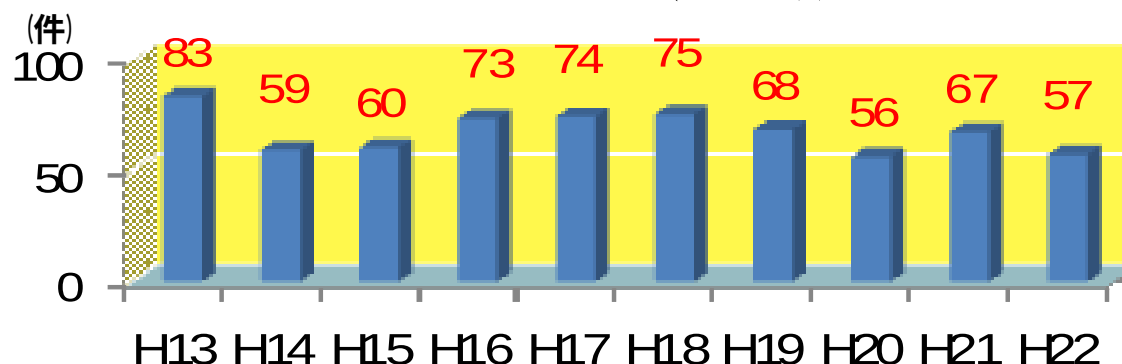
※出典: ～大地の命脈～十勝川 北海道新聞 夕刊 特集 平成16年

平成23年の水難事故

- ◆平成23年9月1日の午後5時45分頃、札内川で中学生が流されていると110番通報。
- ◆友人5人と丸太に乗って遊んでいたところ、川に落ちた模様。
- ◆同日午後7時10分頃、帯広警察署と帯広・幕別両消防署の救助隊員に引き上げられ、病院に運ばれたが、翌2日の午後8時5分頃、病院で亡くなった。

北海道内の水難事故発生状況

【水難事故発生件数（過去10年）】



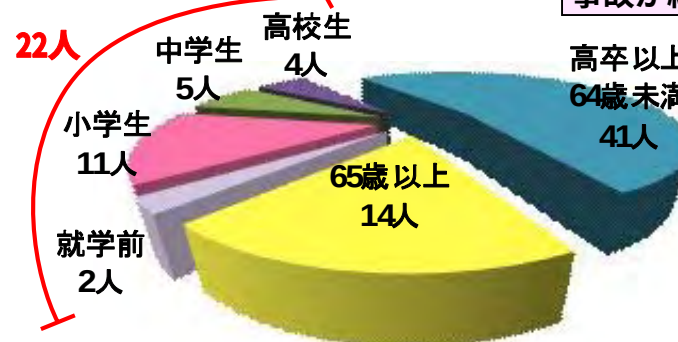
【水難者行為別人数】

水遊び、ボート利用者の水難事故が比較的多い



【水難者年齢別人数】

就学前～高校生までの事故が約3割を占める



※出典：北海道版警察白書「北斗の安全」平成23年版

http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/statis/hokuto_anzen2011/hokuto_anzen2011.html

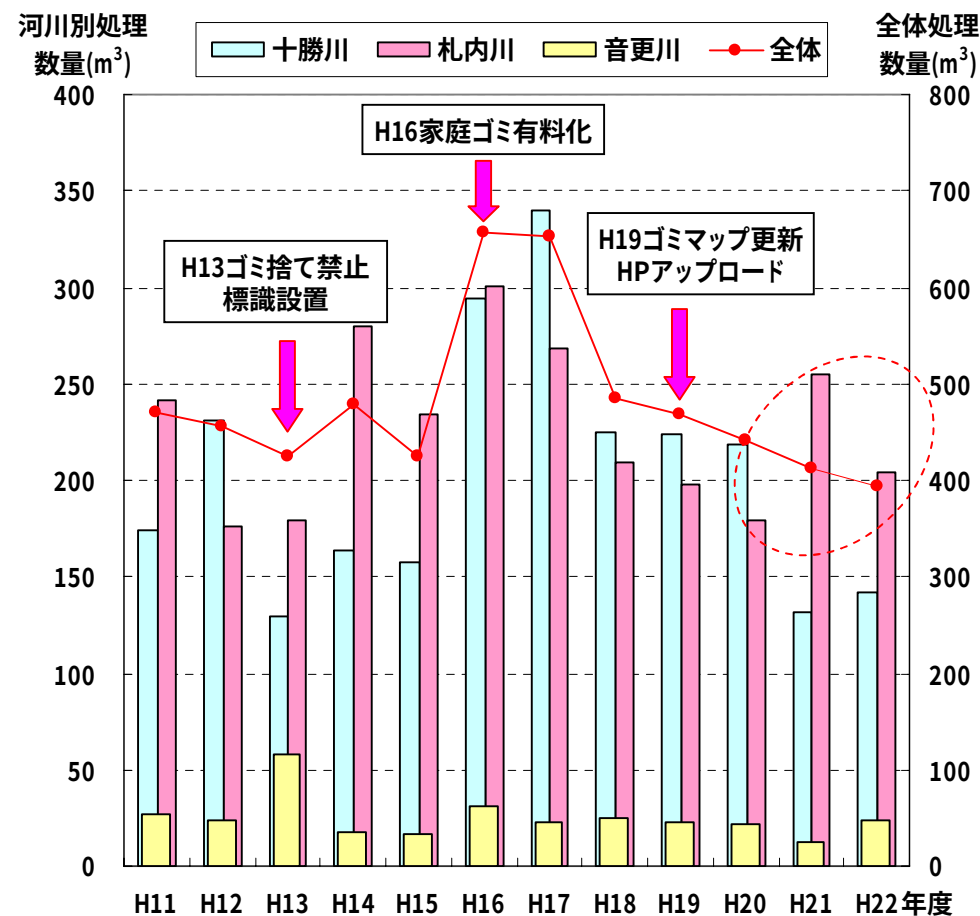
札内川等の不法投棄 (1/2)

- ◆十勝川、札内川、音更川等の河川敷地へのゴミ不法投棄量は、北海道内で一番多い。
- ◆廃プラスチック類、木くず等が、草むらや橋脚の陰などに不法投棄されている場合が多い。

じんかい
河川別の平成21年の塵芥処理量

流域	主河川名	主要都市・人口(千人) (人口はH22年7月末時点)	H21塵芥 処理量 (m ³)	人口千人 当たり塵芥 処理量 (m ³ /千人)
石狩川	石狩川・豊平川	札幌市	1,909.7	322
	石狩川・忠別川	旭川市	353.2	126
	天塩川・名寄川	名寄市・士別市	53.2	64
釧路川	釧路川	釧路市	190.5	4
	網走川・常呂川	網走市・美幌町	61.3	54
十勝川	十勝川・札内川・ 音更川	帯広市・音更町	213.5	412
	十勝川・利別川	池田町・広尾町	15.9	2

ゴミ不法投棄の状況 (橋脚の陰など見つけにくい場所への投棄が多い)



平成11～22年の帯広河川事務所管内の塵芥処理数量

札内川等の不法投棄 (2/2)

◆ゴミ捨て禁止の標識(看板)設置、不法投棄防止啓発等を行うことにより、ゴミの量は若干減少しているが、効果は決定的とはいえない状況。

[不法投棄の状況・特徴を考慮した上での具体的な対策]
近年において河川事務所で実施した内容は次の通りである。



写真-1



写真-2



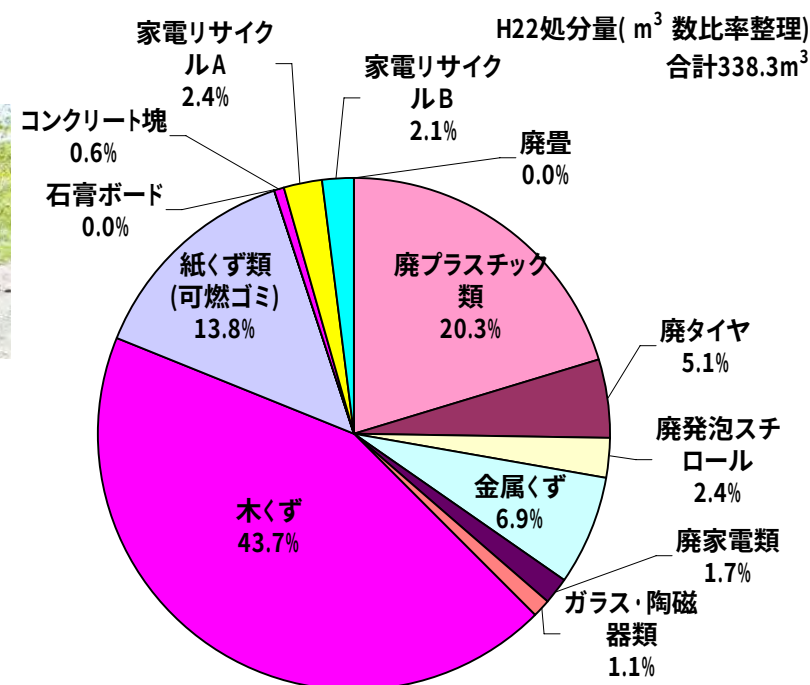
写真-3



写真-4



写真-5



年次	内容	効果
H13	ゴミ捨て禁止標識(看板)設置×17箇所	不法投棄の多い場所へ設置。H13年度のゴミ集計量は若干減ったが、次年度からほぼ例年通りとなる。(写真-1・2)
H16	鳥居設置	関東地整の成功例にならい数カ所設置。当初は効果があったが継続はしなかった。(写真-3)
H19	ゴミマップ更新・HPへアップ	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。
H20	ラジオ番組やイベントを利用した不法投棄防止啓発	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。
H21	クリーンウォーク(ボランティア活動)時に新聞広報とゴミ捨て禁止看板設置	ゴミの量は前年度から若干減少しているが、効果について決定的とはいえない。(写真-4・5)

河川巡視は毎年実施・街頭での河川啓発(パンフレット等の配布)はH18まで実施